

近畿・中国・四国B-1グランプリ



津山市中心部で5月25、26日に開かれるB級「当地グルメの祭典」近畿・中国・四国B-1グランプリの1カ月前会場清掃PRが27日あり、約250人がクリーンアップ作戦に取り組んだ。

鶴山球技場に集合した市民ボランティア、各種団体代表らを前に、同実行委員長の牧野大作・津山商工会議所会頭が「B-1は津山を情報発信する大きなチャンス。津山の顔を存分文化センター駐車場の落ち葉を集める参加者

会場清掃し1カ月前PR

25、26日開催 「多食い」ののぼりも

に売り出すために、ご協力ください」とあいさつ。

5班に分かれ約1時間、津山城(鶴山公園)、津山文化センター駐車場、JR津山駅周辺と近辺道路などのごみやたばこの吸い殻を拾い、落ち葉を集めた。

併せて、「B-1」と、同時開催の「多食い祭りin津山」ののぼり計100本を、今津屋橋などに設置した。友人3人と参加した

山本まやさん(津山商業高3年)は「津山のためにこんなにたくさんの方が集まり、いい活動だと思つ。本番もボランティア参加するが、いろいろなおいしい食べ物も楽しみ」と話した。

2日間で8万人の来場者を見込んでおり、市民あげてのおもてなし機運を高めるのがねらい。